

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	051 -	事業名	古戦場公園再整備事業	担当部課	くらし文化部生涯学習課
------	-------	-----	------------	------	-------------

基本情報	第5次総合計画・基本方針	✓ 文化をみがき、人が輝くまち	会計区分	一般会計
	まちづくり行程表・フラッグ	✓ 「つながり」～一人ひとりに役割と居場所があるまち～	予算区分(款 - 項 - 目)	
	第6次総合計画・基本目標	✓ いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪	9-4-6 文化財費	
	法定受託事務の有無	—		
	その他(関係計画、要綱等)	✓ 古戦場公園再整備基本計画		
事業開始の背景、経緯等	国指定史跡「長久手古戦場」を含む古戦場公園における施設の老朽化に伴い、古戦場公園再整備事業を第5次総合計画に施策として位置づけた。			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 古戦場公園再整備基本計画に基づき、古戦場公園一帯を再整備する。		
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 国指定史跡を含む古戦場公園一帯。		
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 歴史的価値を見出し、史跡を構成する要素を明らかにし、将来へわたって保存、活用していく。		
	事業を構成する事務事業(B票)	① 古戦場公園再整備事業	改善・見直し	④
		②		⑤
		③		⑥

コスト推移	項目	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
	事業費(A)		千円	予算	11,659	3,300	4,405	44,773
決算				0	20,665	4,554	44,105	
人件費(B)		千円	決算	—	7,867	5,638	4,213	
総コスト(A)+(B)		千円	決算	—	28,532	10,192	48,318	

成果推移	成果指標	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
	A	市民ワークショップ参加者	人	目標	140	100	—	20
実績				98	15	—	70	
B			目標					
			実績					
C			目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 前年度実績を上回るように目標設定する。								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 岐阜県関ヶ原町H22.3策定(史跡関ヶ原古戦場保存管理計画)、名古屋市H27.3策定(史跡志段味古墳群保存管理計画)、小牧市H27.3策定((仮称)史跡センター整備基本構想)、小牧市H28.3策定((仮称)史跡センター周辺史跡整備基本計画)、愛知県H28.3策定(史跡貝殻山貝塚保存管理計画)
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) パークマネジメント組織の立ち上げ準備のため、市民ワークショップを3回開催し、参加者は延べ70人であった。 古戦場公園再整備基本設計を策定した。
	過去5年間の振り返り	(過去5年間の事業の進捗状況、改善状況などの振り返り) これまで、市民と協働で古戦場公園再整備に関する意見交換やパークマネジメント組織の立ち上げ準備のため、市民ワークショップを実施してきた。H30年度は、古戦場公園再整備基本設計を作成した。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 古戦場公園再整備基本計画に基づき、市民主体で古戦場公園を運営する組織づくりを進めていく。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 今後、史跡長久手古戦場保存活用計画及び基本設計に基づき、実施設計を行う。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 古戦場公園を再整備し、2022年度に供用開始すると共に、市民主体のパークマネジメント組織を立ち上げる。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	令和元年度からは、第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえて、事業を進めてください。
------	-------------------------	---

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

事業(A票)名	古戦場公園再整備事業		担当部課	くらし文化部生涯学習課	決算書ページ	—
事務事業名	①	古戦場公園再整備事業	予算区分	9-4-6 文化財費		
事務事業の期間	事務事業開始年度	平成26年度(2014年度)	終了(予定)年度	平成34年度(2022年度)		

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 古戦場公園に訪れる来場者に対し、史跡の説明、公園の案内を行うことで、史跡「長久手古戦場」を知ってもらう。これらの役割を市民が主体的に担うことを促進する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 新しいガイダンス施設や公園内の史跡地等を整備し、市民が来場者を案内し、史跡について知ってもらう。

2. コスト推移

項目	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
事業費	千円	予算	11,659	3,300	4,405	44,773	52,602
		決算	0	20,665	4,554	44,105	
<備考：事業費の主な内訳(30年度(2018))>							
(1) 建築基本設計委託						12,271 千円	
(2) 展示基本設計委託						9,801 千円	
(3) 造園基本設計委託						9,721 千円	

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
市民ワークショップ	回	見込	4	1	—	3	6
		実績	4	1	—	3	
		見込					
		実績					
<備考：活動の概要(30年度(2018))>							
市民主体のパークマネジメント組織の立ち上げのため、市民ワークショップを開催した。							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

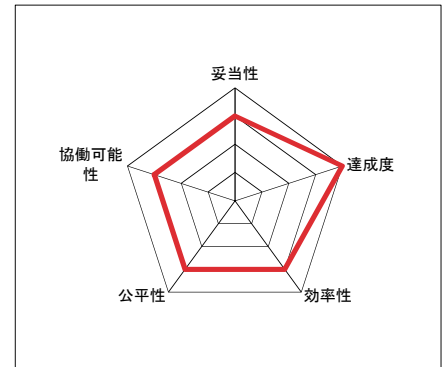
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 平成30年度6月に、文化財保護法が改正され、文化財の積極的な活用が求められている。

5. 前年度からの改善状況

(1) 財政状況
(前年度【予算額】) (今年度【予算額】) (増減額)
44,773 千円 52,602 千円 7,829 千円
(2) 前年度の評価状況《参考》
・前年度【今後の方向性】 ※新規行政評価対象
・前年度【コメント】
A・B票新規行政評価対象(前年度までS票)
(3) 改善状況
(何をどのような状態に改善したのか) 市民主体のパークマネジメント組織の立ち上げのため、古戦場公園再整備事業キックオフパーティー及び市民ワークショップを開催した。

6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	4
効率性	3
公平性	3
協働可能性	3



【協働可能性について】

(1) 市民参加の延べ人数(人)				
区分	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
見込	100	—	20	80
実績	15	—	70	

(2) 協働の状況(30年度(2018))

(協働で取り組んだこと、評価できない理由など)
古戦場公園再整備事業キックオフパーティーを開催し、1,006人の参加者があった。また、市民ワークショップを3回開催し、延べ70人の参加者を集め、パークマネジメント組織の立ち上げ準備に取り組んだ。

【活動エピソード】

(活動のエピソード、コメント、特記事項など)
市民主体のパークマネジメント組織の立ち上げのため、古戦場公園再整備事業キックオフパーティー及び市民ワークショップを開催した。

【改善ポイント】

(改善が必要なこと、改善の方法など)
現状、市民ワークショップについて、ファシリテーターを業者委託しているが、市民の中からファシリテーター等を育成し、市民主体で意見交換していく。

7. 今後の方向性

改善・見直し